

名古屋大家塾の塾長が語る 空き家時代に備えて、 大家は今 どうあるべきか



空室で多くの大家さんが頭を悩ませている時代です。競合の中で抜きん出た物件にするには何をすべきか、経験に基づいた手法を紹介しましょう。



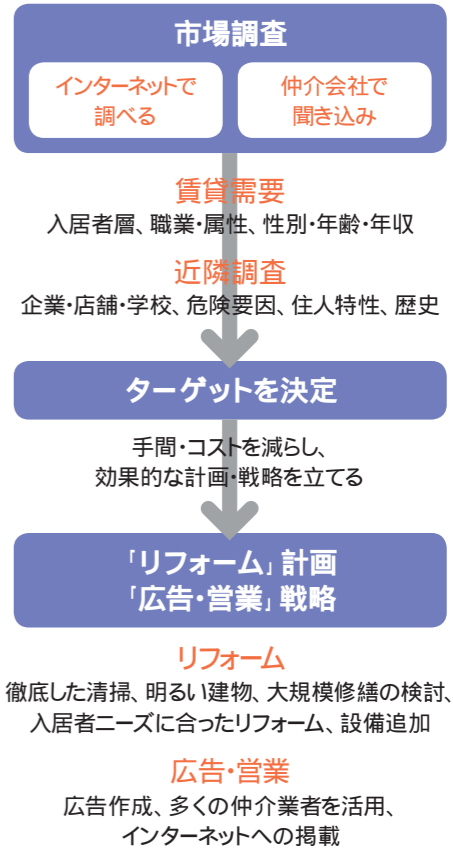
名古屋大家塾塾長
石黒博章氏

会員数400名以上の名古屋大家塾の塾長を11期務め、9棟123戸を運営する大家さん。入居率20%を満室にした伝説を持つ。現在新築RC60戸を建築中。

ネットをフル活用して 市場調査を

空室が出た場合、まずやるべきことは現状の把握です。市場調査と建物調査を徹底的に行って現状を把握します。私の購入した物件を例に紹介しましょう。名古屋市の新築に建つ、築7年の重量鉄骨造マンションは築年数が浅く外観も綺麗でしたが、いろいろな問題があり36戸中22戸が空室でした。市場調査で大事なのは賃貸需要を探ることです。入居者層は単身者かファミリーか。職業や属性、性別・年齢・収入などは？加えて近隣情報も重要です。周辺の企業・店舗・学校、危険要因や住人特性歴史などです。調べることは多岐にわたりますが、非常に役に立つのがインターネットです。グーグルマップで検索すれば、物件周辺の生活施設情報や賃貸仲介会社の

空室を埋めるには？



情報を得られます。ウィキペディアで地名を検索すれば、地域特性もわかります。例えば新栄は「オフィスビルが立ち並び」「歓楽街として発展している」「外国系のお店が多く外国人居住者の多い」などと知ることができました。

プロである仲介会社から積極的に情報収集を

また実際に物件周辺を歩いてみることも大切です。駐車場の車を見れば、住んでいる人たちの所得階層がわかります。地元の大家さんに聞いてみるのも効果的で、意外と積極的に話してくれます。そして何よりも大事なのが、周辺の仲介会社への聞き込みです。日々お客様と対面している仲介会社は有益な情報を持っているプロです。

周辺調査が終わったら、所有物件の魅力を診断します。どこが競合物件に優れているか、劣っているのか、リフォームのポイントなどが見えてきます。

清潔感が第一のリフォーム モデルルーム作成も効果的

現状把握が必要な理由は、ターゲットの絞り込みをするためです。周辺調査が終わったら、所有物件の魅力を診断します。また、より多くの会社訪問を心がけてください。私は1日に15社を訪問しました。そして入居希望者に即決してもらおうチャンスを逃さないために家賃の2000円引きまでOKですと伝えました。週1回に加え、入居状況が変化したタイミングでファックスとEメールで仲介会社に連絡し、こまめにフォローするようにしました。結果は短期間で22戸すべてを満室にできました。

今後もしばしば状況は続くかと思いますが、常に前向きに、どうしたら埋まるかを考え、行動してください。答えが必ず出てくるものです。ぜひ成功する賃貸経営を実現してください。

全館空調クリーニング済み!! 清潔に安全に配慮しています。

トイレは掃除機がけ済みです。3点ユニットでなくよかったです。

お部屋にゆい滞在してください。このお部屋には設備としてこのようなPOPで掲載しておきます。

POP事例

この物件をよく知らない仲介会社が案内しても、魅力が内見者に伝わるよう、アピールポイントをPOPにして目につくところに貼る

チラシ事例

物件の「安全・安心」が伝わるよう、セキュリティへのこだわりや充実した設備を吹き出して強調、写真の品質にもこだわって作成

表

安全な環境! セキュリティにこだわりました。充実設備での価格。しかも初期費用が安い!!

裏

設備が充実しています。部屋内は美観がたいにゆっくりできると評判です。

入居ターゲットを想定すれば、余計な手間やコストをかけずに効果的な営業・広告戦略が立てられ、有効なリフォーム計画が実行できます。新築の物件の場合、ターゲットは「ちょっとお洒落に暮らしたい学生・社会人・飲食関係者」とし、若干治安に不安な地域だったので「安全・安心」を売りにするリフォームを行いました。共用部で徹底したのが清掃です。ゴミ置き場はスペースがあつたものの乱雑だったので、大型のゴミストッカーを設置、郵便受けを修理し、放置自転車を撤去しました。照明を取り替えて、明るく清潔感あふれる空間になりました。居室は生活をイメージしやすいようにモデルルームを作りました。欧風家具量販店のIKEAを利用すれば、お洒落な家具や小物などを驚くほど安い金額で購入できます。そしてモデルルーム内の随所に、使い勝手や設備をアピールするPOPを貼っておきました。リフォームでは、古い設備の入れ替えや安い設備の増設も積極的に行いましょう。設備は残るものですし、入居希望者の意識が向きやすいところです。宅配ボックス・防犯カメラ・温水洗浄便座・TV

36戸中22戸の空室を満室に!

石黒さんの事例

場所:新栄
築年数:築7年
構造:重量鉄骨
階数:10階
間取り:1K×36戸

購入時の状況

36戸中22室が空室。所有者が何人も入れ替わり管理会社も管理することを放棄していた。共用部は荒れ放題の状態。

現状把握で分かったこと

現地はビジネス街と商業地、住宅街が混在した地。周辺には飲食店が多く、外国系のお店も。外国人の居住者も多い。

どんな物件にしたか

学生・社会人向け、飲食店勤務者をターゲットに設定。安全と安心に配慮したりフォームを実施。家賃プランは初期費用ありと初期費用なしで月々の家賃に上乗せの2プラン用意した。

結果

10戸は学生、7戸は社会人、5戸は飲食関係と、ほぼ想定通りの入居者が決定。広範囲のエリアの仲介会社から紹介があった。



